

[アルカディアホームニュース] 住まいのかわら版



フローリング編

カンタンにできる住まいのお手入れ

フローリングのメンテナンス

日々の暮らしの中で、発生する室内の汚れや傷。補修するのは大変だと思いませんか？今回は、比較的可ンタンにできるフローリングのお手入れをご紹介します。



フローリングのお手入れ

フローリングの寿命を左右する ちょっとした心がけ

フローリングの床を長持ちさせるには、寿命を縮めてしまう水気や直射日光、熱から守ってあげるのが大切。ひび割れや面材のふやけの原因となるので、水をこぼしたときはすぐに拭きとります。

また、直射日光に長く当てると、ヒビ割れや変色、隙間が生じることがあるので、カーテンなどでお部屋に差し込む日光を遮るようにします。ホットカーペットを直接敷くのもNG。ワックスのはがれ、面材の反りの原因になります。普段のお手入れもから拭きが基本。水拭きは汚れがひどいときだけにします。

半年に一度はワックスがけ

汚れや傷からフローリングを守るためにも、少なくとも半年に一度はワックスがけをしたいもの。おすすめの時期は、湿度の低い春と秋。ワックスが乾きやすい、よく晴れた日を選びます。

ワックスがけは下準備として、まず掃除機でゴミやホコリを取り除きます。次に固くしぼって水拭き。床が乾いたら、初めてワックスがけ。部屋の奥から入り口に向かって、少しずつワックスを塗っていきましょう。

ワックスが完全に乾く前に触ると、ムラができてリツヤがなくなったりするので、風通しをよくして、完全に乾かします。

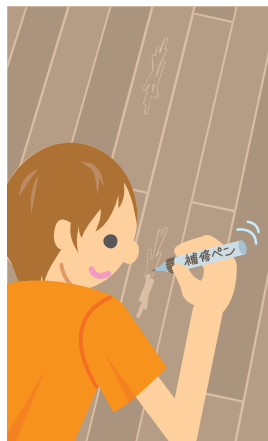


フローリングの補修

傷の補修

着色補修剤または油性のサインペンを用意。使用する色は目立たないところで試し描きして決めます。

- ・こすれてできた広く浅い傷は、薄めの色を選んで、木目に沿って線を描きながら塗り重ねます。
- ・木目に沿った傷は、同系色を傷に沿って塗り込みます。木目と垂直についた傷は、2～3色使用して木目に見えるように目に沿って塗り込んでいけばよいでしょう。



へこみの補修

- ①へこみの補修には、フローリング補修剤と着色補修剤、ドライヤー、タオルを使います。
- ②ヘラの先に、ドライヤーで柔らかくした補修剤を取ってへこみ部分に塗ります。少々多めに塗って指でしっかり埋め込みます。
- ③再度、ドライヤーで柔らかくしてヘラで余分な補修剤を除去。
- ④次に補修剤を埋め込んだところを、タオルで水平になるように磨きます。
- ⑤完全に固まったら、着色補修剤を塗って周りの色に合わせていけば完了。

**カンタンな補修でお部屋も見違えるくらいキレイになります。
時間がある時などに思い切って挑戦してみましょう！**

くらしを快適にする住まいのリフォームのご相談は弊社までどうぞ。